

高槻・今城塚古墳

継体天皇陵の背景

—なぜ淀川水系に築造されたのか—

淀川流域最大の前方後円墳、今城塚古墳



出土した埴輪群（レプリカ）

6世紀の初めに登場した謎の大王、継体天皇。その「真の継体陵墓」といわれる高槻・今城塚古墳は淀川水系に位置する。古代の陵墓の大半は、大和川水系のヤマト、河内なのに対し、なぜ継体墓だけ淀川水系だったのか。その背景を異色の出自とともに、最新の調査・研究成果からたどる。

講師 今城塚古代歴史館前特別館長 森田克行さん

9月28日(木) 午後2時～3時半

会場:大阪市中央公会堂大会議室(地下1階)

(大阪市北区中之島1-1-27)＝地下鉄淀屋橋駅、京阪淀屋橋駅 徒歩約5分

定員:50人 参加費 1000円 要申し込み

電話:050-5583-7403 E-mail:kansaiforum@gmail.com [大阪自由大学](#) [検索](#)

主催 大阪自由大学